

ぼりの手拭いでほほかぶりをしながら、獅子幕を巻きつけたものを持っている。

神楽舞唄

一、鶴は千歳の松にと羽を休め

亀は幾千代万年の齡を保てる目出度さよ

二、伊勢と書いたる二文字は

いと平らかに生れさし 円く力と書くとかや

三、南海道は紀伊の国

音無川の水上に 金玉山きんぎょくとて建たれける

四、当村安全は火伏ご祈禱ねがそのために

飾りおいたる大幣おほき取り上げ太平楽世と改まる

よいとしめろう

由来と沿革……伝来については明らかでないが、上川内諏訪神社の記録によると、延享五年（一七四八）に初めて奉納されたものという。また、余興としてひょっとこ舞が演じられる。

三 風 流